

平成27年度 第2回
夕張市総合教育会議会議録

平成27年11月30日(月)

夕張市役所会議室

夕 張 市

平成27年度 第2回夕張市総合教育会議

夕張市総合教育会議会議録

平成27年11月30日(月)

○協議事項

- (1) 大綱について
- (2) その他

○本会議に出席した者

市 長	鈴木直道
理 事	鈴木亮一
教育委員長	氏家孝治
教育委員	佐々木敦
教育委員	安藤政子
教育委員	樋口勉
教 育 長	小林信男
総務課長	寺江和俊
総務課主幹	鈴木茂徳
教育課長	古村賢一
教育課主幹	押野見正浩
教育課主幹	堀 靖 樹

午後4時00分 開会

○寺江総務課長 本日は、大変お忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。

ただ今から、平成27年度第2回夕張市総合教育会議を開催いたします。

本日の会議ですけれども、9月28日前回第1回の総合教育会議を開催する中で、委員の皆様からご意見を頂戴いたしました。このご意見を踏まえまして夕張市教育大綱につきまして、基本理念、基本目標について検討した案を今日はお示しをしたいと考えてございます。市長より夕張市教育大綱(案)についてご説明申し上げます。

○鈴木市長 本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。9月に引き続き2回目となりますが、今回は大綱(案)をお示して皆様からご承認を賜ればと思います。皆様のお手元に大綱(案)があるかと思えます。そちらをご覧いただきながら私の説明を聞いていただければありがたいと思えます。それでは早速ではございますけれども、夕張市教育大綱(案)のまずは基本理念についてご説明させていただきたいと思えます。まずは私の方から読み上げをさせていただきたいと思えます。

自然豊かな緑の大地と炭鉱(ヤマ)の歴史、そして幾多の困難を乗り越え築かれた「夕張」

ふるさと
■郷土に誇りを持ち、共に支え合い、未来に向かって夢や希望に満ちた子どもたちを育む

■市民生活が心豊かなものとなるよう身近に文化の風が感じられる「夕張文化」の創造と発展を期す

まず、基本理念、今読み上げさせていただきました。まずは基本理念の部分について簡単ではありますがご説明させていただきます。皆様にご説明するまでもございませんが、炭鉱産業としてまちの発展、衰退という歴史と今現に財政再生団体という、ある意味夕張以外が経験していないような困難に直面し、乗り越え、また乗り越えようとしているという中で築かれて来た夕張であるということをご前文で簡潔に説明させていただいているところでございます。その後の具体的基本理念の部分でございしますが、教育と文化ということでそれぞれ二つに分けさせていただいた中で、盛

り込みさせていただいているところでございます。教育という部分でふるさと郷土に誇りを持ち、共に支え合い、未来に向かって夢や希望に満ちた子どもたちという部分ですけれども、誇りの創出ではないですけれども、非常に困難に直面している本市の状況に変わりはない訳でございますけれども、

そんな本市の状況の中でも、やはりしっかりとこのまちに対する誇り、ふるさと郷土に対する誇りというものをもってですね、厳しいからこそ共に支え合い、未来に向かって夢や希望にということが逆に自然と身に着くという部分もございしますし、また、そういったところを磨き上げていくということをですね、

こちらの表現を入れています。次に文化でございますけど、市民生活が心豊かなものとなるよう身近に文化の風が感じられる「夕張文化」の創造と発展を期すとございます。こちら後の基本目標の部分でもそれをどう具体的に行っていくのか、ということにつながってくるものでございますけれども、夕張独自の文化の発展、またその継承ということに是非つなげていきたいということで、2つに分けたかたちですね、簡潔にまとめているというところでございます。

続けて説明させていただきたいと思っております。基本目標の方に移らせていただきます。私の方からまた読み上げさせていただきます。基本目標は大きく4つのグループに分かれております。

■ 確かな学力を身につける教育の推進

- ・基礎的な知識・技能の習得
- ・自ら考え、判断し、表現する力
- ・様々な問題に積極的に対応し、解決する力

■ 豊かな人間性を身につける教育の推進

- ・明るく素直で元気な夕張っ子の育成
- ・礼儀正しく、心豊かでやさしい夕張っ子の育成
- ・社会に適応する協調性をもった夕張っ子の育成

■ 健やかな心身を育む教育の推進

- ・健康でたくましい^{からだ}身体づくり
- ・地域に密着したスポーツの推進
- ・スポーツ施設の整備、充実、利用の促進

■ 人と人、地域と地域をつなぐ社会教育の推進

- ・郷土の文化や芸能を保護し、歴史を愛する市民の育成
- ・生涯学習活動、鑑賞機会の提供と施設整備
- ・郷土の文化財保護と活用

ということが教育目標ということでございます。それでは説明させていただきたいと思っております。それぞれ大きく4つ分かれている訳でございますが、9月に行われました会議の中でですね、その中で大きくご意見として出た部分について、それぞれ適応させているかたちにはなっております。まず初めの確かな学力を身につける教育の推進ということで、こちらご意見で学力の向上ということが大事であるということですね、ご発言をいただいたところでございますが、その具体的な基本目標ということですね、まず一つ目の項目は書かせていただいているというところでございます。

二つ目の豊かな人間性を身につける教育の推進ということについてもですね、豊かな人間づくり

が必要であるということでご意見を頂戴している部分をですね、反映させたかたちになっておりません。

三つ目、四つ目が、ご意見等がですね、部分々に入っているかたちになっているのですが、健やかな心身を育む教育の推進という部分でですね、前回のご意見の中でも体力づくりですか、また、スポーツ施設整備、充実、利用の促進ということでございますが、この部分は教育だけではなくて、前は教育・文化・スポーツ施設とおしてご発言をいただいたところでございますけれども、体力づくりを大きなカテゴリーの中でくってありますので、スポーツ施設の部分について触れさせていただいているということです。最後の四つ目でありますけれども、先ほどいいました教育・文化・スポーツ施設の部分の文化または文化財保護という観点もご指摘いただいたところでございますので、こちらですね、それぞれ二つ目のポツ、三つ目のポツでございますけれども、生涯学習活動、鑑賞機会の提供と施設整備ということで入れております。三つ目はですね、郷土の文化財保護ということで触れさせていただいているということであります。それぞれ皆さんから頂いたご発言をそのまま引用してというかたちではないですが、皆さんがご発言していました趣旨を踏まえましてですね、それぞれの基本目標に表現させていただいているところでございます。非常に簡単な説明でございますけれども、私から基本理念、そして基本目標ということでそれぞれ読み上げと、案ご提示にあたっての考え方ということで今お話をさせていただきました。それとですね、この大綱でございますけれども、今後の教育行政の長期的な目標とすることが必要でありまして、国の教育基本計画は5年という期間でございます。ですので、平成28年度から平成32年度までの5年間ということで、その期間についても国の教育基本計画にあわせるかたちで期間設定ということもあわせてさせていただきたいと思っております。私からの説明は以上でございます。

○寺江総務課長 今、市長の方から基本理念と基本目標で構成される夕張市教育大綱(案)について説明がございました。このことについて皆さんの方からご意見・ご質問等あれば受けてまいりたいと思っております。

○小林教育長 それでは私の方から、第1回目の総合会議の中で現状教育委員会が抱えている課題も含めてですね、各委員の方からお話しがあったことについて概ねですね、この目標の中に組み込まれているのかなというふうに見たところであります。基本目標の一つ目、二つ目は主に学校教育に近い部分での目標、三つ目と四つ目の部分については社会教育あるいは社会体育等に関わる大きな目標というふうにとらえていいのかなと考えております。問題はこれをどう具体化をこの5年間の中でしていくのかという課題になってくるのかなと考えているところであります。

○寺江総務課長 それでは委員の皆さんはいかがでしょうか。

○氏家教育委員長 今の説明を聞いてですね、前回から流れを考えると皆さんの意見が出ているなど、考慮してくれているなど安心したところです。それとある程度大枠の基本理念にしても基本

目標にしてもですね、大枠の部分でかたまってくれば後は28年から、来年からということですので、いろんな問題が近々に出ている中ですね、基本目標と基本理念ということ、これを基本にしてですね、教育行政5年間というよりは2年、3年少しでも早い時期にですね、問題を一つずつケアして貰っていただこうかなと思っています。示された案は非常にいいかなと思っています。

○寺江総務課長 ほかどうでしょうか。

○樋口教育委員 前回の総合会議で意見を述べさせていただいた中をですね、反映されていることに感謝いたします。これから5年間、具体的に人と物と金ということが必要になって来るかと思いますが、目的はこの夕張の教育を良くするという立場に立てばですね、市長さんと私委員と忌たんのないこれからの意見を述べられることを願って感想といたします。

○寺江総務課長 ありがとうございます。ほかよろしいですか。

○各委員 はい。

○小林教育長 なければですね、現状教育委員会がとりわけ平成27年度に入って何回か定例の教育委員会を開いているのですけれども、その中でいろんな事が話題になったりするわけですが、いくつかの点についてですね、この場をかりてお話しさせていただきたいと思うのですけれどもよろしいですか。それでは、せつかくの機会ですので教育現場の状況について二、三触れさせていただきたいと思っています。一つはですね、以前として児童生徒数の減少傾向が止まっていない現状にあります。小中学校全体でいきますと、学級の人数が30人から30人の後半くらいの状況で、非常に数の多い状況の中でそれぞれ学校生活がおくられているということで、次年度はおそらく全ての学年で普通学級は1になっていこうというところで今のところ想定しているところがあります。小中併せて破綻前の平成18年4月には、小中学生含めて660名おりました。現在ですね、小学生が217名、中学生が119名ということで336名、おおよそこの9年間の中で半数近くまで子ども達としては落ち込んでいるという状況の中で日々の学校生活がおくられているということであります。それで現場ではですね、こういう状況がずっと続いてきている訳でありますけれども、少人数に対応しながらTPで授業展開をしたり、個々に対応した指導が中心になっているところがありますけれども、現在、国・道の教員定数の改善で中学校3名、小学校で1名の加配ですね、これをいただいている状況であります。これは毎年変わっていくということでもあります。それから小学校の通級指導教室には2名配置されて、比較的他の市町村に比べると多く配置されているのかなということでもありますけれども、そういった状況の中で市からの特別教育支援員については、小学校が2名、中学校が1名ということで現在3名、それぞれ教室の方に入らせていただいている。これらの問題も今後、先ほどいいましたように多くの課題を抱えている子どももまたいますので、引き続きこれらの特別教育支援員については時間の増であるとか、あるいは数の増について教育

委員会としては、それぞれの状況について話していかなければならないのかなと思っているところです。一方では人材がなかなかいないというような状況もありますけれども、そういった必要性がでてくると考えているところでもあります。それからもう一つはですね、教職員の研修に関わる部分であります。今年度の予算の中で、中学校でQ-Uアンケートしていただくようお願いをして、実際今やっています。Q-Uアンケートは学級内での子どもの人間関係を明らかにして、その集団の中から学習にどういうふうに取り組み、どういうふうに対応しているだとか、ということでの研究をやったところでもあります。来年度以降、小学校に入学して中学校に行くという流れの中では、小学校・中学校共同してですね、それに取組むと全体9年を通じて子どもをみることができるのではないかなということもあって、そういった方向性について学校の方とも十分協議しているところでもあります。研修やあるいは子どものこれからの方向性とかこういったものを少し考えていかなければならないのかなと考えているところでもあります。これは小中学校の現場で大きく二つの点について、今後5年間の中で考えていく大きな課題の一つになるのかなということです。次に子ども・子育てに関わる部分でありますけれども、本年8月1日付けで教育委員会に子ども・子育て支援係がスタートしたところでもあります。当面ですね、私どもとしては市民から強い要望のありました南地区での子どもの居場所づくり、こういった必要性といいますが、そういったところを感じているわけでもあります。それから児童遊園の整備ですね。これも議会でもずいぶん指摘されていますけれども、現状も今年度教育委員みんなで視察をしましたけれども、おそらく昭和40年代の人口が10万人近いあたりにつくられた遊園地でありますけれども、今、人の住んでいる場所に違いがあって、これを全部維持するというのは困難であり、その必要性というのは感じなかったところでもありますけれども、これから今、市のマスタープランをつくりながら清水沢を中心に考えていくとすれば、やっぱりそこに一定程度児童遊園という性格上からいってもですね、選択と集中といいますが一定程度まちづくりに合わせたかたちでのポイントってあると思います。そういった意味では数は少なくなるかもしれないですけども、そういった部分ていうのは必要なるかなということは委員皆さんで視察した時に感じたところでもあります。それから認定こども園の問題については、現状色々動きを持ってですね、やっているところでもありますので、当面この三つぐらいがですね、長期的な展望も踏まえて解決していかなければならない課題になるのかなと思っていますところでもあります。また、高校問題についても明日一定程度、今年度の整理をする予定であります。夕張高等学校からは、この4月以降、夕張の子ども達の数を見据えながら新たな夕張高等学校の魅力づくりということをしてPTAも含めてですね、大きな議論をして一定程度整理がついたということで報告がありました。また、一方では市の中にワーキンググループをつくって、市としてこういった支援ができるのかという部分についても我々説明を受けたところでもあります。そういった意味では地域に唯一ある後期中等教育の施設でありますので、これらの課題についても十分考えて行かなければならないのかなと思っていますところでもあります。キャンパス校の問題もですね、現在、道教委の中で、非常に今までのやり方ではもたないのではないかなということ、道教委の内部に委員会をつけて、年度内に一定程度キャンパス問題の数の問題については整理をするということで、今、具体的にスタートしているところでもあります。これは長いこと空知管内にあっては、私の方から北海道の広域性を考えると

今までのやり方ではだめだということを何度も言ってきた部分であります。したがって、必要に応じて道教委にも再度考えてもらう、そういった動きをしていかななくてはならないのかなと考えでありますけれども、是非そういった意味でも、これも一年で終わるという課題ではありませんので、少し長いスパンをみながらですね、これに対する支援も考えていく必要があるのではないかとこのように思っています。博物館の問題でありますけれども、これは今、現在進行形でありますので、平成30年度オープンの際にどうかたちでうまく流れをつくっていくのかということが、一番の課題になってくるのかなと思っております。今日付けで博物館が返上されてですね、明日から教育委員会の所管で色々ことを進めていくとなりますけれども、これも先ほどいったようにやっぱり長期に渡る中身でありますので、これも一つの大きな課題だと思っております。それから先ほど基本目標の中の三つ目のスポーツ施設の整備、充実、利用の促進というのがありました。現在の体育館というのは貸し館業務ですね、希望のあったところを基本としながら操作している段階でありますので、利用の促進といった意味では、今の状態とはまた違ったかたちでの歩み方が必要になってくるのではないのかと。これも一年ですぐ急激に大きな変化ということにはならないかと思っておりますけれども、これらの問題についても一つその思いを致していただければなと思っております。また、市民会館がなくなったことによって現在、文化団体がいろんな発表会をやる場は限られていてですね、先日もしンデンコールでしたか、音楽協会のいろんな発表会、私も行って参りましたけれども、結構お金がかかるんですね。5万、6万という世界じゃなくて、もっと大きな負担があつてですね、その維持のことを考えると、これらの問題も短期的には解決できないとしても、やはり中長期的にはそういった小さいものであっても機能を持った施設が大事なのかなとこれからのために思っています。いずれにしても、基本理念にあるように、郷土夕張の歴史や文化に根ざした夕張教育を進めるに向けてですね、この教育総合会議もそうですけれども、あらゆる場面でお互いに意思疎通を図りながらですね、教育行政を推進させていきたいと考えておりますので、少し長くなりましたけれども、現状抱えている課題についてお話をさせていただきました。

○寺江総務課長 それでは議題に戻りますが、市長から説明させていただきました夕張市教育大綱(案)について、皆様のご承認をいただけますでしょうか。

○各委員 はい。

○寺江総務課長 はい、ありがとうございます。それではご承認をいただきましたので、今後5年間の夕張市における大綱としましてですね、教育行政の指針としたいと考えます。よろしくお願ひしたいと思います。なお、教育長から発言のありました定例の教育委員会におけるディスカッションの中で、教育現場の課題等々についてお話しがありました。こういった部分も含めて、しっかりと市長部局と連携を図って進めていきたいというふうに思います。それではその他事務局何かありますか。

○事務局 ありません。

○寺江総務課長 市長から最後お願いします。

○鈴木市長 委員の方々からお話がありましたけれども、目標をつくっても実現するのが大変だと、もちろんそうなのですが、まずしっかり目指すべきところを共有して、確かに人とお金の問題は夕張が破綻しているので大きいですが、やれるところからとにかくやっつけていこうじゃないかと、または危機としてですね、本当にもう先ほどお話のあった高校の問題だとか、学校だけでなく認定子ども園の話ですとか、本当にまったなしですね、どんどん動きを出していかなければならない部分がございますので、ご指摘のありました部分も踏まえてしっかり連携をして、できることからしっかりやっっていくということをですね、市長部局としてもしっかりやっていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○寺江総務課長 それでは皆さんの方から特段なければ、これにて平成27年度第2回夕張市総合教育会議を閉じて参りたいと思います。本日は大変ご苦労様でした。